

「革新的技術開発・緊急展開事業」、うち地域戦略プロジェクト  
「ICTを用いた総合的技術による、農と林が連動した持続的獣害対策体系の確立」  
研究成果発表会実施要領

## 1 目的

近年、中山間地域等を中心に、イノシシ、シカ、サル等による農業被害が深刻化しており、これらの野生獣類による被害が営農意欲の減退や耕作放棄地の増加、森林に自生する植物への食害等農山漁村に深刻な影響を与えている。

このため、被害防止活動の一層の強化が必要となっているが、農業従事者や狩猟従事者の高齢化に伴い、省力的かつ効率的な獣害被害防止技術の確立が求められている。

このような中、平成28年度から全国の民間企業や大学、国や都道府県の研究所等が総力を結集し、「革新的技術開発・緊急展開事業」、うち地域戦略プロジェクト「ICTを用いた総合的技術による、農と林が連動した持続的獣害対策体系の確立」を実施しており、獣害被害防止技術についても、省力化や効率化等を実現する革新的な技術体系の確立が進められている。

今回、本事業において開発された獣害防止技術を、現場に幅広く普及することを目的に、開発・実証の状況や研究成果を紹介する成果発表会を開催する。

## 2 開催日時

平成31年2月15日（金）13:00～17:30

## 3 開催場所

一橋講堂 中会議場1～4

(〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階)

## 4 内容

### (1) 研究成果発表（13:00～17:30）

- ・研究の背景と全体像
- ・ICTを用いた大型檻、罠の遠隔監視・操作と捕獲の自動化の融合技術（ロボットまるみえホカクン）
- ・省力性や動物の行動特性を考慮した、新たな檻・罠
- ・農地と林地での併行捕獲技術と実証
- ・捕獲の担い手の心身ケア手法の開発
- ・捕獲個体の簡易処理技術のポータブル化と利活用技術の開発
- ・サル群の管理技術とその後のモニタリング技術（選択捕獲とリアルタイムGPS）
- ・社会的背景が異なる地域での、被害軽減、担い手の育成、捕獲効率向上等の社会実験的実証

### (2) 製品展示と実演（13:00～17:30）

事業で開発した機器等を展示

- ・ICTを用いた大型檻、罠の遠隔監視・操作と捕獲の自動化の融合技術（ロボットまるみえホカクン）
- ・高齢者が少人数で設置・移設が可能な簡易大型檻
- ・捕獲の担い手の心身ケア手法マニュアル

- ・軽量の電気止め刺し器
  - ・リアルタイム GPS システム
- 他

休憩時間に実演

- (3) 相談コーナー (17:30~18:00)  
発表内容等に関する質問や相談を受け付ける

- 5 参集範囲  
都道府県 (試験研究、普及、行政)、市町村 (鳥獣被害実施隊)、農業団体、報道機関等
- 6 定員  
200名
- 7 主催・共催  
主催：ICTによる農林一体獣害対策コンソーシアム (代表：兵庫県立大学)  
共催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター、特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会
- 8 コンソーシアム構成員および報告・展示予定者  
兵庫県立大学、鳥羽商船高等専門学校、(株)アイエスイー、三重県農業研究所、(国研)農研機構西日本農業研究センター、長崎県農林技術開発センター、(株)末松電子製作所、(株)三生、(株)大光食品、(国研)森林総合研究所、三重県林業研究所、国立大学法人宇都宮大学、(特非)里地里山問題研究所、(株)野生動物保護管理事務所、(株)サーキットデザイン、島根県中山間地域研究センター、福島県農業総合センター、(国研)農研機構中央農業研究センター、(株)試作サポーター四日市、(特非)東海地域生物系先端技術研究会

※構成員から課題に合わせて報告者を調整予定です

- 9 その他

- 10 問い合わせ先

(全体について)

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 山端 直人

TEL 0795-80-5500 (代表) E-mail yamabata@wmi-hyogo.jp

(参加申込み)

(株)アイエスイー 担当：藤井

FAX 0596-36-3847 E-mail ict.jugai@gmail.com

FAX, E-mail のみで受け付けし、定員になり次第受付終了。

申し込み締め切り 平成31年2月8日 (金)